

新刊 (五月發行)

- 中央公論 □方寸 ■早稻田文學 □みつこし
- 少年世界 ■學生文藝 □文藝俱樂部 ■婦人衛生會雜誌
- 學燈 □青年の友 ■建築ト粧飾 □新小説
- 白樺 ■女學世界 □土佐圖書俱樂部 ■婦人の友
- 實業界 □家庭の友 ■昆蟲世界 □中學世界
- 日本美術 ■建築雜誌 □美術新報 ■小學校
- 婦女界 □紙の世界 ■寫眞界 □新潮
- 新公論
- 東京美術學校々友會月報(非賣品)

『みづゑ』殘本 六十七、六十八、六十九 一部 二十五錢  
 七十、七十四、七十五

但表紙の少しく損ぜしものあり ●郵券代用差支なし

他は既刊全部品切

■準備なり次第『水の研究』と題する特別號を發行すべく候につき、

水に關する感想、實驗等御投稿有之度候、

會告

■水彩畫に關する意見、展覽會、寫生會等の報導、其他美術に關する小品文等の投書を募る

■寫眞版として挿入すべき鉛筆畫、一色畫、水彩畫等の寫眞若くは繪畫を募る

■中繪として挿入すべき石版三色以内の圖案及び繪畫を募る、但し繪の大きは各號の本誌を見られよ

■文章は一行二十字詰にしてなるべく簡單に字體明瞭に認めらるべく、假名は平假名に限る

■質問は水彩畫に關する技術上の事項に限る

■『讀者の領分』投稿はなるべく一般に利益ある問題に限る、個人間の應答の如きはお断り

■以上編輯切は前月十日、但中繪は前々月中に送らるべく且その發表の月の季節に適せしものを望む

■投稿は注文書其他と同一紙に認むべからず

■投稿の繪畫及文章は一切返戻せず

■投稿の繪畫及文章にして本誌に登載せしものうち優秀なる作に對しては水彩畫一葉を贈るべし

■初學者のために當分肉筆臨本を頒つ ○肉筆臨本は一枚に付送料共金貳圓拾錢 ○圖柄及び畫幅の大小を指定する事を得ず○着金後二週間以内に送附すべし

■日本水彩畫會々友規定並びに同研究所規定は往復はがきにて本會に申出あれば送呈すべし、但往復ハガキ返信用の方へ宛名を書いたのは無効

以上

(後付の五)